

総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 SCOPE  
「異能(Inno)vation」プログラム

## ジェネレーションアワード部門

「ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア」  
「自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術」  
「自らが発見した実現したい課題」等を募集。  
『異能ジェネレーションアワード』として表彰します。

企業と組んで実現を目指そう。

## 平成29年度 募集要項

業務実施機関 (株) 角川アスキー総合研究所  
協力協賛企業各社

## 1 背景と目的

情報通信審議会諮問「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術政策の在り方」（中間答申：平成25年7月5日 最終答申：平成26年6月27日）において、『既存の常識に縛られない独創的な「変わった事を考える人材」、「変わった事をする人材」など、独創的な人材を積極的に活かしていく仕組みが重要である』と提言されました。これを踏まえ、総務省では、平成26年度より、『異能(Inno)vation』プログラムを推進し、独創的な技術課題の発掘に取り組んできたところです。

現在、政府においては、新しいアイデアに基づく研究を奨励するアワード方式の導入など、チャレンジングな研究開発の支援方策の検討なども進められています。これから本格的なIoT / BD / AI時代を迎えると、人工知能でもできる「問題を解く力」よりも「これまでにない（＝人工知能には予想もつかない）課題を発見し未来を拓く力」がより一層求められていくことと考えられます。

異能(Inno)vationプログラムでは、こうした状況を踏まえ、異能(Inno)vation協力協賛企業との連携により、

- ① ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ② 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ③ 自らが発見した実現したい課題

等を募集する「ジェネレーションアワード部門」を本年度より新設し、「異能ジェネレーションアワード」として表彰します。さらに、これらのアイデア・技術・課題について企業と組んで実現を目指す機会を設けます。全国津々浦々、あらゆる年代からの応募をお待ちしております。

## 2 募集対象

### (1) 応募課題

ICT\*分野における以下の項目等を募集する。

※ ICTとはInformation and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本語では「情報通信技術」という意味で使われる。

- ・ ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ・ 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ・ 自らが発見した実現したい課題

等

※ あなたの日ごろのちょっとしたアイデアも、こだわりの技術も、思いもよらないような使い方をしてくれる人や企業が出現することにより、世界を変える一歩を生むかもしれません。

### (2) 応募資格

- ・ 日本国籍を持つ者（居住地問わず）または終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者（国籍問わず）。

- ・ 年齢不問。

### (3) 応募形態

- ・ 個人応募可能。グループ応募可能。  
グループで応募する場合、グループ代表者がグループ全員から応募に必要な同意をすべて得ること。
- ・ 自薦と他薦  
自薦：個人もしくはグループの自らの応募  
他薦：応援したい個人もしくはグループを推薦。なお、他薦の場合、被推薦者の現在の連絡先を業務実施機関に知らせることができること。本プログラムへの推薦に際し、被推薦者に推薦した事実を知らせないこと。  
※ 「自分には理解できないアイデアを持っている方を知っている」や「応援したくなる技術をコツコツと努力している方が身近に居る」「あの人が取り組んでいるこれを実現してはどうか」という場合は他薦をしてください。「うちの子供（もしくは生徒・社員・親・先生・先輩・後輩）はこんなに変わっていて、意味は理解できないがすごいことに没頭している」場合など、家族や教員や上司や部下などからの推薦を推奨します。

## 3 アワード

以下の分野それぞれに対して「異能ジェネレーションアワード」の募集を行う。また、異能 vation 協力協賛企業が特に支援したいと思う課題などについては企業特別賞が設けられることがある。なお、審査の結果、分野などに対象がない場合はアワードを設定しない。

募集分野例：ICTに関わる以下の分野

①情報通信 ②宇宙 ③医療 ④教育 ⑤農業・漁業・林業などの第一次産業と流通 ⑥セキュリティ ⑦センシング・データ ⑧電波とその有効利用 ⑨映像・音声 ⑩バイオテクノロジー ⑪防災 ⑫流通 ⑬ロボット・AI（人工知能） ⑭IoT(Internet of Things) ⑮アプリ ⑯その他業務実施機関が思い付きもしない分野。

各分野における表彰が行われる。協力協賛企業各社より副賞（20万円）および企業特別賞（未定）などを提供。

## 4 協力協賛企業とのマッチング

協力協賛企業はアワード審査中にマッチングしたい提案を発掘した場合、審査終了後にその希望を業務実施機関に伝える。その後、業務実施機関から応募者へ連絡を行い、応募者が希望する場合、企業と応募者とのマッチングが成立する。

- ※ 業務実施機関は応募者の許可なく個人情報の展開は行いません。
- ※ 応募者は協力協賛企業に対し本プログラムを通じて直接的、間接的（業務実施機関を通じてなど）に交渉することはできません。
- ※ 業務実施機関はマッチングの機会を設定しますが、その後は干渉を致しませんので、ご本人と企業とで進めることができます。

## 5 申請受付期間

平成29年5月22日(月) 11:00～平成29年6月30日(金) 18:00

## 6 申請手続

「異能(Inno)vation」公式サイト上の電子申請システムにて申請受付。

<http://www.inno.go.jp/award>

- ・ 追加資料や試作品などは、公式サイト電子申請システムにおける資料添付提出もしくは、業務実施機関への郵送にて受付。なお、業務実施機関への手渡しは受け付けない。
  - ※ 郵送物は締切当日消印、当日宅配便受付日付を有効とします。なお、提出いただいた書類等は原則として返却いたしませんので予めご了承ください。

## 7 応募について

### (1) 自薦

「ジェネレーションアワード部門」の自薦受付のフォームでは主に以下を受付します。

- ・ 個人情報の入力
- ・ 募集分野の選択
- ・ 提案タイトルの入力（50文字以内）
- ・ 概要の入力（600文字以内）
- ・ その他追加資料（.txt .doc .docx .pdf .xls .xlsx .gif .jpg .png形式）も添付可

### (2) 他薦

「ジェネレーションアワード部門」の他薦受付のフォームでは主に以下を受付します。

- ・ 推薦する人（あなた）の個人情報の入力
- ・ あなたが推薦する方（被推薦者）の情報の入力
- ・ 推薦する方との関係の入力（600文字以内）

- ・推薦する方に何を期待しているかの入力（600文字以内）

## 8 選考および結果の開示

### (1) 評価選考

業務実施機関による形式確認後、異能(Inno)vationプログラムの協力協賛企業による評価と審査を実施する。

### (2) 選考結果の開示

公式ホームページにてアワード受賞者の氏名、在住の都道府県及び課題名を開示する。なお、選考に通過しなかった方に対しては特段の連絡を行わない。

## 9 スケジュール

年	時期	内容
平成29年	5月22日(月)	公募開始 受付期間：5月22日(月) 11:00 ~ 6月30日(金) 18:00
	6月30日(金)	公募終了
	9月頃	各表彰者決定・発表

## 10 アワード受賞にあたる必須要件

- ・提案の発案者・発案グループであること。
- ・応募内容（追加資料を含む）に関する権利は応募者本人もしくは本人達に属するものとして徹底管理しますが、審査を行う協力協賛企業が提案と類似のアイデアや技術や課題を検討済みであることもあり得るため、提案を絶対秘匿にしたい場合には応募しないこと。
- ・選考プロセスにおいて面接等を実施することとなった場合には、それに参加可能であること。  
※ 所要経費は業務実施機関より支弁します。
- ・アワード通過後、本プログラムに係る会合や交流会などに積極的に参加をする意思があること。
- ・企業等の組織に所属する者の場合、アワード受賞の際には所属組織からの承諾書を提出すること。  
※ 承諾書の提出に当たり、所属機関との調整が必要な場合には業務実施機関が支援します。
- ・アワード受賞者が未成年者である場合、保護者又は監護者の同意があること。  
※ 応募者が希望する場合、同意取得に当たり業務実施機関が支援します。
- ・日本国籍を持つこと（居住地問わず）、もしくは、または応募日からアワード発表日まで日本に居住していること（国籍問わず）。  
※ 日本語による事務処理の対応が可能である必要があります（あるいは対応が可能な環境にあること）。

- ・アワード受賞提案が、外国為替および外国貿易法に基づき輸出規制対象になる場合は、選外とする。

## 1 1 応募に関わる留意・注意事項

### (1) 応募内容の独自性について

本プログラムに関わる一切の期間において、他者のアイデアおよび知的財産を盗用すること、侵害することを禁ずる。応募する段階から、他者のアイデアおよび知的財産の盗用・侵害に関して十分に注意を払う必要があることを認識すること。

### (2) 不正の取り扱い

不正を行わないこと。本プログラムで言う「不正」とは、一般的な法律や条例内に抵触する行為全般を指す。

### (3) プログラム終了後の調査への協力

今後の制度の充実等を図るため、アワード受賞者に対し、表彰後の現況調査等への協力を依頼することがある。

## 1 2 秘密の保持

### (1) アワード通過までの提案内容の秘密保持

「8 (2) 選考結果の開示」の場合と審査に関わる企業への開示を除き、審査にかかる情報を含め、提案に関するその他の情報については、提案者を含め開示しない。

### (2) 選考通過者が履行しなければならない秘密保持

本プログラムを通じて提案者が知り得た企業の機密情報を、他に漏洩することや、本プログラム執行の目的の範囲外で利用することは認めない。

## 1 3 知的財産権の取り扱い

- ・応募内容は協力協賛企業に開示されるため、内容を完全秘匿したい場合には応募はしないこと。
- ・アワードを受けた場合、応募内容は、公式ホームページにて氏名、在住の都道府県と共に開示される。

## 1 4 本募集に関する連絡先など

株式会社角川アスキー総合研究所「異能(Inno)vation」事務局

電話：03-5840-7629

メールアドレス：info/atmark/inno.go.jp (/atmark/を@に変えてください)

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く） 10:00～18:00

## (参考) 個人情報の取り扱いについて

個人情報とは、住所、氏名、電話番号、e-mailアドレスその他特定の個人として識別することができる情報（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものも含む。）をいいます。

応募の際にご提供いただいた個人情報については、異能(Inno)vationプログラムの業務実施機関を務める株式会社角川アスキー総合研究所の「個人情報保護方針」に従って対応します。

### (1) 応募いただいた個人情報の利用目的

- ①選考及び選考通過に関する通知
- ②各種お問い合わせに関する確認、返答のご連絡
- ③本プログラムに関連したイベントがあった際のご連絡

### (2) 応募いただいた個人情報の管理について

- ①不正アクセス、紛失、漏洩、改ざんなどを防止するために、厳重なセキュリティ対策を実施します。
- ②個人情報を入力いただく際、データ暗号化技術を利用して通信時の情報保護します。
- ③公募に関して業務実施機関が得た個人情報は、法令の定めのある場合を除いて、提供者の事前の同意なく、予め明示した利用目的以外に使用することはありません。

### 【個人情報の取扱いに関するご連絡先、苦情・相談窓口】

開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。

(社名) 株式会社角川アスキー総合研究所

(住所) 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

KOYOSHA KSビル2階

(TEL) 03-5840-7800 (FAX) 03-5840-7812

(E-mail) [info/atmark/lab-kadokawa.com](mailto:info/atmark/lab-kadokawa.com) (/atmark/を@に変えてください)

個人情報管理責任者：吉川栄治

◆業務実施機関の「個人情報保護方針」は下記で公開しています。

URL : <http://www.lab-kadokawa.com/privacy.php>

総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)  
「異能(Inno)vation」プログラム

## 「破壊的な挑戦部門」

I C T (情報通信技術) 分野において、破壊的価値を創造する、  
奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦

平成 2 9 年度 募集要項

業務実施機関 (株) 角川アスキー総合研究所



## 1 経緯

研究開発等による成果を社会経済変革（イノベーション）につなげることは極めて重要であり、政府全体として、それを実現するための新たな仕組みづくりを進めてきたところです。特に、ICT<sup>※</sup>産業は全産業の名目国内生産額合計の約1割を占めかつ全産業に密接に関連しており、その競争力の確保が重要です。このためには、官民の研究開発能力を結集し、我が国が強みを発揮すべき技術分野を見定め、確実に社会実装につなげるよう、公的な予算・人材を重点投資するとともに、産学官連携の強化や外部の資金・人材の活用など、我が国全体の力の結集を促す仕組みの構築などを通じて、イノベーション創出を実現していくことが求められます。

このため、総務省では、情報通信審議会諮問「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術政策の在り方」（中間答申：平成25年7月5日 最終答申：平成26年6月27日）の提言を踏まえ、ICT成長戦略の一つとして平成26年度から独創的な人向け特別枠「異能(Innovation)」プログラムを開始しました。

※ICTとはInformation and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本語では「情報通信技術」という意味で使われる用語です。

## 2 募集対象

破壊的イノベーションの種となるような技術課題への挑戦を支援。日々新しい技術や発想が誕生している世界的に予想のつかないICT（情報通信技術）分野において、破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性があり、奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦。ゴールへの道筋やビジョンを明確に提案ができ、価値ある失敗に挑戦することを恐れない者<sup>※</sup>。

※ 本プログラムでは、道筋を立てて課題に挑み生まれた失敗は、以後に活かすことのできる「奨励される失敗」と考えています。課題達成に向けた仮説が構築されており、かつ、失敗してもその失敗によって次の道筋が明確になる提案を期待しています。

## 3 自薦枠と他薦枠

応募は自薦と他薦を募集する。

- (1) 自薦枠：自らの技術課題への挑戦
- (2) 他薦枠：自分以外の方を推薦

※ 他薦枠は、独創的な考えで技術課題に挑戦を行っていながら、その独創性に自分自身では気づいていない人たちを周囲の方々が推薦する枠組みです。例えば、「自分には理解できない課題に果敢に挑戦している方がいる」や「応援したくなる技術をコツコツと努力している方がいる」などの場合を想定しています。ご家族、教員等、友人、先輩後輩からの「この子はこんなに変わっていて、私には意味が分からないけれども何

だかすごそうなことに没頭している」というような方の推薦をお待ちしています。

※ なお、他薦の場合、本プログラムへの推薦に際し、被推薦者に一切その内容を知らせないでください。一次選考を通過した他薦の方には業務実施機関から連絡を行います。他薦による被推薦者本人が希望する場合、被推薦者本人が改めて応募を行います。

#### 4 応募資格

- ・ 日本国籍を持つ者（居住地問わず）または終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者（国籍問わず）。
- ・ 年齢不問。

#### 5 支援額

- ・ 300万円を上限とする。
- ※ 業務実施機関が煩雑な事務を代行するため、原則として現金支給は行いません。
- ※ 人件費は支給対象者の前年度の収入を基に単価を算出します。

#### 6 技術開発期間

- ・ 一次選考終了後（平成29年9月末頃を予定）から最長で1年間（平成30年9月末頃まで）。
- ・ 1年に満たない時点で開発を終了した場合、その時点でのスキップ卒業が可能。

#### 7 申請受付期間

平成29年5月22日(月) 11:00～平成29年6月30日(金) 18:00

#### 8 申請手続

##### (1) 応募方法

「異能(Inno)vation」公式サイトでの電子申請システムにて申請受付。

<http://www.inno.go.jp>

##### (2) 注意事項

- ・ 他薦の場合、本プログラムへの推薦に際し、被推薦者に一切その内容を知らせないこと。

※ 一次選考を通過した被推薦者へは業務実施機関から連絡を行います。他薦による被推薦者本人が希望する場合、被推薦者本人が改めて応募を行います。

- ・ 追加資料や試作品などは、公式サイト電子申請システムにおける資料添付提出もしくは、業務実施機関への郵送にて受付。なお、業務実施機関への手渡しは受け付けません。

※ 郵送物は締切当日消印、当日宅配便受付日付を有効とします。なお、提出いただいた書類等は原則として返却いたしませんので予めご了承ください。

## 9 応募の流れ

### (1) 自薦応募の流れ

推薦は複数ご応募頂いて構いません。その場合はそれぞれ登録をしてください。

STEP01	<b>応募</b> ..... 「自薦応募フォーム」より応募をお願いします。 エントリーフォームのセッションの有効時間は1時間です。 あらかじめ内容を書き下してからご応募することをおすすめします。
STEP02	<b>個人情報の入力（*は必須項目）</b> ..... 氏名*、フリガナ*、郵便番号*、都道府県*、ご住所*、電話番号*、メールアドレス*、性別*、生年月日*職業をご入力ください。
STEP03	<b>技術課題名（必須項目）</b> ..... 50文字以内で技術課題名を入力してください。
STEP04	<b>技術課題を乗り越えて実現したい目標（必須項目）</b> ..... 600文字以内で技術課題を乗り越えて実現したい目標を入力してください。

<p><b>STEP05</b></p>	<p><b>実現への道筋（必須項目）</b></p> <hr/> <p>下記いずれかの方法で、手法、戦略、アプローチをお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーム内で入力（1000文字以内）</li> <li>・フォーム内でアップロードし提出（STEP07）</li> <li>・オンラインストレージサービスのURLで提出（STEP08）</li> </ul>
<p><b>STEP06</b></p>	<p><b>技術課題への挑戦に関する詳細</b></p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) あなたがこの技術課題に挑戦しようと思った理由</li> <li>2) アピールしたいこと</li> <li>3) このプログラムに応募した理由</li> <li>4) その他</li> </ol> <p>をご自由にご記入いただき、下記いずれかの方法にてお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーム内で入力</li> <li>・フォーム内でアップロードし提出（STEP07）</li> <li>・オンラインストレージサービスのURLで提出（STEP08）</li> </ul>
<p><b>STEP07</b></p>	<p><b>フォーム内でアップロードし資料提出</b></p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) サポートされているファイル形式 （.txt .doc .docx .pdf .xls .xlsx .gif .jpg .png）で提出してください</li> <li>2) 提出ファイルは3ファイルまでです</li> <li>3) 1ファイルにつき上限容量は3MBまでです</li> </ol>
<p><b>STEP08</b></p>	<p><b>オンラインストレージサービスのURLを記載し資料提出</b></p> <hr/> <p>ダウンロード期限がある場合は長めに設定をお願いします</p> <p>オンラインストレージサービスをご利用の場合は1ファイルにつき3MB以上でも可能としますが極力容量を抑えたデータをお願いします。 また、データの形式に制限はありませんのでmp3やmp4の形式のデータも</p>

	<p>受付致します。ソフトをインストールしないと閲覧ができないような、特殊なデータでの提出はご遠慮ください。</p>
STEP09	<p><b>「役割が重複しない複数名」で応募の場合は選択してください</b></p> <hr/> <p>「役割が重複しない複数名」での応募の場合は、STEP09 で研究時に役割分担をする開発者全員の氏名分担を示す資料のアップロードが必要です。</p> <p>「役割が重複しない複数名」での応募の場合はチェックを選択→STEP10 へ  「個人」での応募の場合チェックを入れず「次へ」→STEP11 へ</p>
STEP10	<p><b>複数名で取り組む場合の、開発者全員の氏名と役割分担を示す資料のアップロード（必須項目）</b></p> <hr/> <p>1) サポートされているファイル形式  (.txt .doc .docx .pdf .xls .xlsx .gif .jpg .png) で提出してください</p> <p>2) 提出ファイルは 1 ファイルまでです</p> <p>3) ファイルの上限容量は 3MB までです*</p>
STEP11	<p><b>協力協賛企業に興味はありますか（必須項目）</b></p> <hr/> <p>意識調査であり、これにより「協力協賛企業プログラム」に登録や、企業へ情報が開示される訳ではありません</p>
STEP12	<p><b>その他（ご意見ご感想）</b></p> <hr/> <p>ご意見、ご感想などありましたらご自由に記入ください</p>
STEP13	<p><b>応募完了</b></p> <hr/> <p>エントリーフォーム入力後→「応募内容確認」ボタン→入力内容の確認画面→「応募する」ボタンを押し、「ご応募ありがとうございました」と画面に出れ</p>

	<p>ばご応募完了です。その後、応募確認メールが届きます。</p> <p>1 時間以内に確認のメールが届かない場合は (info@inno.go.jp) までお問い合わせください。</p> <p>※受付完了メールを受信できるよう、ドメイン指定受信をご利用されている方は no-reply@soumu-inno.jp が受信できるよう設定ください</p>
--	--

## (2) 他の方を推薦する流れ

推薦は複数ご応募頂いて構いません。その場合はそれぞれ登録をしてください。

<b>STEP01</b>	<p><b>応募</b></p> <p>「他薦応募フォーム」より応募をお願いします。</p> <p>エントリーフォームのセッションの有効時間は 1 時間です。</p> <p>あらかじめ内容を書きしてからご応募することをおすすめします。</p>
<b>STEP02</b>	<p><b>推薦する人（あなた）の情報（必須項目）</b></p> <p>氏名*、フリガナ*、都道府県*、電話番号*、メールアドレス*をご入力ください。</p>
<b>STEP03</b>	<p><b>あなたが推薦する方の情報（必須項目）</b></p> <p>あなたが推薦する方の情報をわかる範囲でお教え下さい。なお、氏名のみ必須でお教え下さい。</p>
<b>STEP04</b>	<p><b>推薦する方との関係</b></p> <p>親子、友人、知人、生徒、近所にいる面白い人物、ネットで見かけた人など、推薦する方（あなた）との関係や、知った経緯などの情報をお教え下さい。</p>
<b>STEP05</b>	<p><b>あなたが推薦する方の情報 その他</b></p>

	上記設問以外でご存知のプロフィールや情報がありましたらご記入下さい
<b>STEP06</b>	<p><b>推薦する方に何を期待しているか（必須項目）</b></p> <p>.....</p> <p>推薦する方の何を見て推薦したのか、推薦者にどんな技術課題に挑戦してほしいと思ったか、などをご記入下さい</p>
<b>STEP07</b>	<p><b>応募完了</b></p> <p>.....</p> <p>エントリーフォーム入力後→「応募内容確認」ボタン→入力内容の確認画面→「応募する」ボタンを押し、「ご応募ありがとうございました」と画面に出ればご応募完了です。その後、応募確認メールが届きます。</p> <p>1 時間以内に確認のメールが届かない場合は（info@inno.go.jp）までお問い合わせください。</p> <p>※受付完了メールを受信できるよう、ドメイン指定受信をご利用されている方はno-reply@soumu-inno.jp が受信できるよう設定ください</p>

## 10 選考通過にあたっての必須要件

- ・ 課題の発案者であり、その課題を実現するために自立して技術開発を推進する者であること。複数名で取り組む場合には、それぞれの役割が重複しないこと。
- ・ 技術開発の全期間を通じ、課題の実現に向け、責任をもち遂行することができること。
- ・ 選考プロセスにおいて面接等を実施することとなった場合には、それに参加可能であること。  
※ 所要経費は業務実施機関より支弁します。
- ・ 最終選考通過後、本プログラムに係る会合や交流会などに積極的に参加をする意思があること。
- ・ 企業等の組織に所属する者の場合、最終選考通過後に所属組織からの承諾書を提出すること。  
※ なお、承諾書の提出に当たり、所属機関との調整が必要な場合には業務実施機関が支援します。
- ・ 最終選考通過者が未成年者である場合、保護者と履行契約できること。

- ・ 日本国籍を持つ者（居住地問わず）、もしくは、終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者（国籍問わず）であること。
  - ※ 日本国籍を持つ方は国外での技術開発実施が可能です。
  - ※ 日本国籍を持たない方は最終選考通過時から技術開発終了までを通じて、日本国内で技術開発を実施可能である必要があります。
  - ※ 日本語による事務処理の対応が可能である必要があります（あるいは対応が可能な環境にあること）。
  - ※ 日本国外で開発を実施する日本国籍を持つ方、もしくは日本国内で開発を実施する日本国籍を持たない方については、査証（ビザ）の取得、在留期間更新、在留資格変更等、本プログラムの参加にあたり必要となる実施地への滞在資格に関する各種手続は各自にて行っていただきます。技術開発者が在留資格に関する要件を満たせない場合、支援の中止等の措置を行います。
  - ※ 海外で開発を実施する開発技術もしくは技術開発者が、外国為替および外国貿易法に基づき輸出規制対象になる場合は、支援の中止等の措置を行います。

## 1 1 予定者数

- (1) 一次選考 30名程度通過予定
  - (2) 最終選考 10名程度通過予定
- ※ 再公募を行うことがあります。

## 1 2 選考および結果の開示

- (1) 選考
  - 業務実施機関による形式確認後、一次選考、最終選考を実施。
  - ※ 最終選考では面接等を求めることがあります。

- (2) 評価
  - 評価はスーパーバイザーが実施する。本プログラムの評価に際しては、これまでの経験や能力を不問とするため、名前、性別、年齢、過去の経歴などを伏せて評価を実施。

なお、評価の観点は以下の通り。

- ・ 独創性：破壊的な技術課題に挑戦する方に相応しいアイデアや特徴を持っているか



- ・ 自己追究性：他者に根拠や理由付けを求めない自己追究的な姿勢を持ち合わせているか
- ・ 認識の明確性：挑む技術課題についてその可能性や問題点、解決方策、あるいはどこが未知の領域なのかについて明確に認識しているか
- ・ 不屈の精神：挑む技術開発テーマに絶対感を持ち、最後に成功するまで挑み続ける気力があるか

### (3) 選考結果の開示

一次選考、最終選考ともに公式ホームページにて通過者の氏名、在住の都道府県及び技術課題名を開示する。なお、選考に通過しなかった方に対しては特段の連絡を行なわない。

## 1 3 スケジュール

年	時期	内容
平成29年	5月22日(月)	公募開始 受付期間：5月22日(月) 11:00～6月30日(金) 18:00
	6月30日(金)	公募終了
	8月中旬	一次選考 一次選考通過者の発表
	9月末	最終選考 最終選考通過者の発表
平成30年	3月	「スプリングスクール」 (成果発表など)
	8月中旬頃	終了評価

※ 公募説明会は、参加者数などにより実施場所・日程の変更や追加を行うことがあります。公募説明会への出席を希望される方は、必ず公式サイトでの最新情報を確認の上、参加申込をしてください。

## 1 4 技術課題への挑戦に対する支援体制

本プログラムでは、最終選考通過者の技術開発遂行に対し、「業務実施機関」と「スーパーバイザーグループ」が支援を実施。

経費や物品の管理等の煩雑な事務等を業務実施機関が代行することで、技術課題に挑戦する者が可能な限り自らの技術開発に没頭できる環境を構築。スーパーバイザーは技術課題に挑戦する者に対し技術開発への助言及び評価を担当。

**※スーパーバイザーが技術開発に介入することはありません。**

最終選考通過者は、これらの支援を最大限活用し、ICT分野におけるアンビシャスな技術的ゴールに向けて、失敗を恐れずに技術的な挑戦を行う。

## スーパーバイザー（五十音順）

上田 学  
米国 MODE, Inc. CEO

小川 エリカ  
ギネスワールドレコーズジャパン株式会社 代表取締役社長

川西 哲也  
早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 電子物理システム学科 教授

高須 克弥  
医療法人社団福祉会高須病院理事長 高須クリニック院長

高橋 智隆  
株式会社ロボ・ガレージ 代表取締役社長、東大先端科学技術研究所特任  
准教授

原田 博司  
京都大学 情報学研究科 通信情報システム専攻 教授

牧野 友衛  
トリップアドバイザー株式会社 代表取締役

まつもと ゆきひろ  
一般財団法人Rubyアソシエーション 理事長

## プログラムアドバイザー（五十音順）

伊藤 穰一  
MITメディアラボ所長

外村 仁  
First Compass Group General Partner/ Scrum Ventures アドバイザー/  
前Evernote Japan会長

中須賀 真一  
東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授

西川 徹  
株式会社 Preferred Networks 代表取締役社長 最高経営責任者

## 1 5 秘密の保持

### (1) 最終選考通過までの提案内容の秘密保持

「1 2 (3) 選考結果の開示」の場合を除き、審査にかかる情報を含め、提案に関するその他の情報については、提案者を含め開示しません。

### (2) 選考通過者が履行しなければならない秘密保持

本プログラムを通じて技術開発者が知り得た企業や研究機関内の機密情報を、他に漏洩することや、技術開発目的の範囲外で利用することは認めません。

## 1 6 知的財産権の取り扱い

最終選考通過者が本プログラム内で生んだ成果は、発明した本人に権利を帰属させます。最終選考通過者が現在所属している組織や機関がある場合でも、その組織や機関の財産にはならないことに留意してください。

## 1 7 留意事項

### (1) 応募内容および技術開発内容の独自性について

応募時点から最終選考通過後まで、本プログラムに関わる一切の期間において、他者のアイデアおよび知的財産を盗用すること、侵害することを禁じます。応募する段階から、他者のアイデアおよび知的財産の盗用・侵害に関して十分に注意を払う必要があることを認識してください。

### (2) 不正の取り扱い

① 本プログラムで言う「不正」とは、一般的な法律や条例内に抵触する行為全般を指します。例えば、技術開発のために支給した物品を技術開発目的以外で利用するなど不正に該当します。

② また、本プログラムは総務省が実施する競争的資金制度の一部であり、競争的資金において不正が行われた際の取り扱いについては「競争的資金の適正な執行に関する指針」として公開されているので、公募への参加にあたり、この内容を深く理解してください。

【参照】競争的資金の適正な執行に関する指針

<http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/shishin1.pdf>

### (3) プログラム終了後の調査への協力義務

今後の制度の充実等を図るため、最終選考通過者に対しプログラム終了時及びその後の10年程度まで就職等の現況調査等を行うため、最終選考通過者は協力してください。

#### (4) 協力協賛企業とのマッチングについて

総務省「異能vation」プログラムに応募された方は、全員が協力協賛企業紹介プログラムに応募する資格を持ちます。応募者の知的財産保護の観点から、受付フォームにある注意事項を了承し遵守して頂くことを前提とします。応募者と協力協賛企業とのマッチング成立まで業務実施機関が支援します。

## 18 本募集に関する連絡先など

株式会社角川アスキー総合研究所「異能(Inno)vation」事務局

電話：03-5840-7629

メールアドレス：info/atmark/inno.go.jp（/atmark/を@に変えてください）

受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）10:00～18:00

異能(Inno)vation 公式ホームページ：<http://www.inno.go.jp>

### (参考) 個人情報の取り扱いについて

個人情報とは、住所、氏名、電話番号、e-mailアドレスその他特定の個人として識別することができる情報（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものも含む。）をいいます。

応募の際にご提供いただいた個人情報については、異能(Inno)vationプログラムの業務実施機関を務める株式会社角川アスキー総合研究所の「個人情報保護方針」に従って対応します。

#### (1) 応募いただいた個人情報の利用目的

- ① 選考及び選考通過に関する通知
- ② 各種お問い合わせに関する確認、返答のご連絡
- ③ 本プログラムに関連したイベントがあった際のご連絡

#### (2) 応募いただいた個人情報の管理について

- ① 不正アクセス、紛失、漏洩、改ざんなどを防止するために、厳重なセキュリティ対策を実施します。
- ② 個人情報を入力いただく際、データ暗号化技術を利用して通信時の情報保護します。

③公募に関して業務実施機関が得た個人情報は、法令の定めのある場合を除いて、提供者の事前の同意なく、予め明示した利用目的以外に使用することはありません。

**【個人情報の取扱いに関するご連絡先、苦情・相談窓口】**

開示、訂正、利用停止等のお申し出は、下記窓口までご連絡ください。

(社名) 株式会社角川アスキー総合研究所

(住所) 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

KOYOSHA KSビル2階

(TEL) 03-5840-7800 (FAX) 03-5840-7812

(E-mail) info/atmark/lab-kadokawa.com (/atmark/を@に変えてください)

個人情報管理責任者：吉川栄治

◆業務実施機関の「個人情報保護方針」は下記で公開しています。

URL : <http://www.lab-kadokawa.com/privacy.php>